

多様な人材活用を目的とした研究体制整備について

東京薬科大学では、多様な研究者が自身の能力を確立できる環境を整備するため、以下の通り女性研究者および若手研究者の登用比率の数値目標を定めます。

東京薬科大学 女性研究者比率に関する数値目標

薬学部の女性研究者比率について、2019年5月現在の20%から2030年までに、全体の23%を超えるよう数値目標を設定する。

生命科学部の女性研究者比率について、2019年5月現在の19%から2030年までに、全体の22%を超えるよう数値目標を設定する。

東京薬科大学 若手研究者比率に関する数値目標

薬学部の若手研究者比率について、2019年5月現在の31%から2030年までに、全体の34%を超えるよう数値目標を設定する。

生命科学部の若手研究者比率について、2019年5月現在の19%から2030年までに、全体の22%を超えるよう数値目標を設定する。

* 40歳以下の研究者を若手研究者とする

2019年9月24日
東京薬科大学 学長
平塚 明